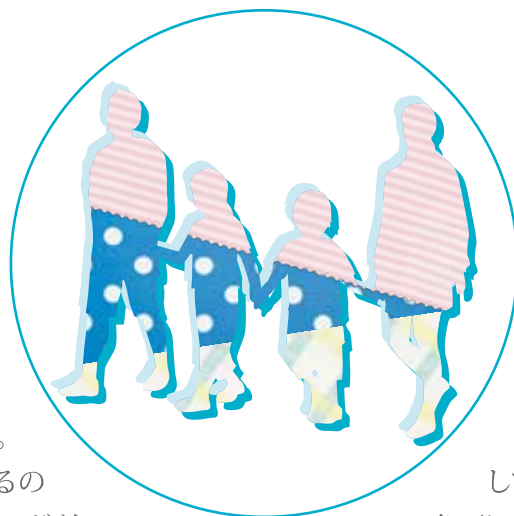


時代ではないと思います。やはり経験が大切です。いきなりやれと言ってもできません。材料だけ用意して、簡単な料理を作らせることもあります。

妻が働いて夫が育児と家事をするというのも、これからの時代はごく普通にあると思います。父親の公園デビューも増えてくるのではないのでしょうか。私も15年ほど前、子どもを背負って出かけていました。



「男女共同参画センター」では、各種講演会・シンポジウムや会議室などを利用した講座を開催しています。また、男女共同参画推進団体を対象とした研修会の開催や、情報発信の場の提供、会議室の無料貸し出しで活動や交流を支援しています。もっと市民の皆さんが参画して楽しめるようにしていきたいです。

✔ 結婚や子育てをして、変わったと思うことはありますか？

子どもが生まれてからは、自分が頑張らなくてはいけなかったという意識は強くなりました。それと同時に、議員としての質問の内容が教育とか子育てなどの方向に変わっていきました。社会の子どもたちのために、自分がその親御さんの代表として色々発言しなくてはいけなかったと思います。今度は市長という立場で、やるべきことがたくさんあると思います。

✔ ワーク・ライフ・バランスについてのお考えは？

働いて社会に進出したい女性、家で子育てをして家庭を守りたい女性、それぞれの考え方なので、それを否定することはないと思います。

男女がお互いに尊重し合いながら社会は成り立っていると思いますので、1つの考え方で枠にはめてしまうのは適切でないと思います。それぞれの個性や生き方があり、それを応援するのが結果的には男女共同参画やワーク・ライフ・バランスになっていくと考えています。

今後の男女共同参画。

✔ 「男女共同参画社会」や「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を広く浸透させるには？

「男女平等」は知っていても、「男女共同参画社会」や「ワーク・ライフ・バランス」の理解はまだ十分でないと思います。市として積極的に男女共同参画について周知・啓発を推進することが大切で、平成17年4月にそのための機能を持った「男女共同参画センター」を総合保健福祉センター内に開所しました。

✔ いわき市の男女共同参画社会を推進するうえで、市長としてリーダーシップを取っていききたいことは？

まず、Wingの部数をもう少し増やすことも必要だと考えています。

また、市の幹部職員の女性登用や審議会等に参加する女性の比率も、市が掲げる目標を達成するよう力を入れていきたいです。

そして、市長に就任して最初の訓示で、「いわき市を良くする提案を出してください」と全職員に依頼したところ、女性職員から非常にいいアイデアが出されています。これらの提案を市政に積極的に反映していきたいと思っています。

What's 清水市長

Q：子育てで大切にしていることは？

A：子どもが成長しても心だけは離れないようにしようと、いつも妻と話をしています。

Q：家族で一緒にすることは？

A：仕事で家族と一緒に過ごす時間が少ない中でも、年に1、2回は家族旅行をしてきました。子どもと丸一日過ごせて家族の絆が深まりました。

Q：得意料理は？

A：チャーハンやインスタントラーメンを具たくさんで作るのが得意です。

Q：座右の銘は？

A：「一期一会」です。やはり、人との出会いは大切にしないといけないと思います。つねに誠実に接していくことが大事だと思います。

